

単元名 学習のまとめ

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) これまで学習した字形の整え方について理解し、字形の整え方に気を付けて書くことができる
 (2) 1年間の学習を振り返り、自分のめあてを選んで書くことができる。
 (3) これまで学習してきたことを生かして、意欲をもって書こうとする。

標準的な展開例

04020301_001

【教材名】『平和』（毛筆）（P. 42～P. 45）

【準備等】水書板、電子黒板、練習用紙、縦罫線

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1～2 これまでに学習したことを生かして、『平和』を書く ★学習したことを生かして書こう ○毛筆で『平和』を試し書きする。 ○試し書きと教材文字を比較して話し合い、自分の課題をつかむ。</p> <p>○筆使いのポイントを確認する。</p> <p>○練習する。</p> <p>○まとめ書きをする。</p> <p>○試し書きと比べて評価する。</p> <p>○『平和な国』を硬筆で書く。</p> <p>3 1年間の学習を振り返り、文字の形や大きさ、組み立て方などに気を付けて書く。 ★文字の形や大きさ、組み立て方などに気を付けて書こう ○1年間の学習を振り返る。</p> <p>○もう一度学習したい課題を選ぶ。</p> <p>○練習する。</p> <p>○まとめ書きをする。</p> <p>○硬筆で1年間の学習を確認する。</p> <p>4 1年間の学習を振り返り、文字の大きさや配列に気を付けて書く。 ★文字の大きさや、配列に気を付けて書こう ○1年間の学習を振り返り、基準を確認する。</p> <p>○練習する。</p> <p>○まとめ書きをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を見ないで書かせる。 教科書P. 43を見て、「横画」「縦画」「左払い」「点」「点画の接し方」「左右の組み立て方」のどこに自分の課題があるのか確認させ、めあてに書かせる。 それぞれのポイントを学習した教材のページを見て確認したり、筆順を空書して全員で確認したりする。 めあてを達成できるような練習方法を準備する。 【評】練習を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 【評】練習や作品を通して、これまで学習したことを生かして書く「知識・技能」を評価する。 試し書きと比べ、基準達成を確かめるように伝える。 よくなったところを互いに発表させる。 【評】作品や自己評価を通して、これまでの学習内容やめあてに対する「思考・判断・表現」を評価する。 それぞれのポイントを確かめながら書くよう促す。 <ul style="list-style-type: none"> 教科書の文字を見せて、どのような学習をしたか、想起させる。 これまでに学習したことは、字形を整えるために大切な要素であることを伝える。 課題を見付けやすくするために、今までのまとめ書きを用意しておく。 学習したページを振り返るよう助言する。 各課題に沿った練習用紙を用意したり、自作できるように見本を掲示したりする。 2回目の学習になるため、文字の形、大きさにも気を付けながら書くよう助言する。 【評】自分の課題を通して、学習の成果に対する「思考・判断・表現」を評価する。 友達と相互評価し、学習の成果を確認させる <ul style="list-style-type: none"> 前回のまとめ書きと比べ、学習の成果を確認できるようにする。 【評】作品を通して、文字の形や大きさ、組み立て方などに対する「知識・技能」を評価する。 <ul style="list-style-type: none"> 教科書P. 45を見ながら、文字の大きさや配列よく書くためのポイントを確認する。 前時に復習した、字形を整えるための学習内容も振り返らせる。 ふだんの国語のノートなどから、自分の課題を見付けるよう指導する。 行の中心が分かる用紙（縦罫線）や、文字の大きさが分かる用紙を用意しておく。 友達と相互評価し、学習の成果を確認させる

○ 日常の学習活動に生かす。

【評】 作品を通して、文字の大きさや配列に対する「知識・技能」を評価する。
・ ふだん使用しているノートから一行分を選び課題に気を付けて書かせる。
【評】 作品や練習を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】